

中澤秀平 市議会報告 日本共産党

中澤秀平 6月市議会のもようをお知らせします

6月市議会は、6月8日から6月21日まで開かれました。中澤秀平議員は、一般質問では「藤岡市多世代ファミリー同居支援増改築等補助金について」を行いました。総務常任委員会では、市民からの「『テロ等準備罪』に反対する意見書の提出を求める請願」の紹介議員として奮闘されました。それらの要旨を掲載します。

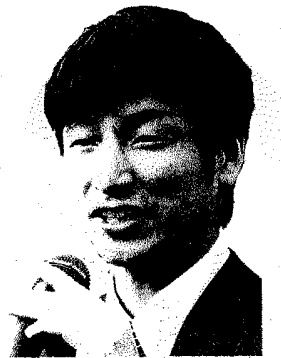
一般質問

「藤岡市多世代ファミリー同居支援増改築等補助金について」

○制度の目的

この制度は、複数世代で同居をしようとする世帯の増改築費用を補助するためのものです。制度の目的として市

民も安心して暮らせる住環境づくりを促すこと、定住を促すこととされています。藤岡市では人口が減少する一方で世帯数は増加しており、核家族の世帯が増えています。高齢者のみの世帯と



○利用の実績は…

目的を達成するには実際に制度を利用し、工事が行われなくてはなりません。

昨年の12月より始めた制度ですが、実績はまだありません。市の担当者は利用実績がないことについて、制度が始まったばかりであること、周知が足りないことをその理由に挙げています。しかし、それだけではなく、利用に際し、要件の

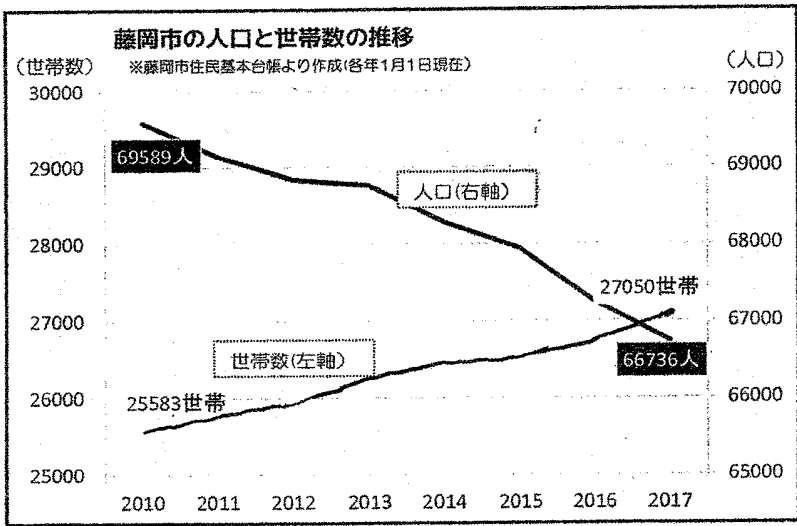
厳しさを利用のびない一つの原因として考えられます。

対象となる世帯は親世代と子世代が同居をするものとなっていますが、子世代世帯には中学生生まれまでの子どもがいることが条件となっています。また、対象の工事はいわゆるリフォーム工事を対象とせず増改築や施設の更新に限るものとなっています。

○他の自治体では

市が答弁のなかで挙げた同様の事業をおこなっている自治体と比べると、藤岡市の制度の要件は厳しいものとなっています。前橋市では同居に限らず近くに住む「近居」の場合にも補助されます。

※裏面に、多世代ファミリー同居支援事業の他の自治体との比較表を掲載しました。



太田市では住宅取得制度のオプションとして多世代同居の場合に補助金を加算するものとなっています。答弁の例として出された佐野市では転入者に限るものですが、近居に加えて藤岡市では対象外の屋根や外壁の修繕・塗装に対しても補助する仕組みとなっています。これらの自治体で制度の対象を中学生までの子どもがいる世帯に限っているのは藤岡市のみです。

また、市の答弁の中にはありませんでしたが、館林市ではいわゆる一般的な住宅リフォーム助成制度のなかで多世代同居の場合には増額される方式となっています。リフォーム助成の利用実績100件のうち、多世代同居で補助増額となったのは1件ということで、多世代同居という住まい方にあまり需要がないことが伺えます。

藤岡市の多世代ファミリー同居支援事業と他市の類似事業との比較

自治体	事業名	補助対象条件	近居	屋根・外壁等の修繕・塗装	子世帯の子どもの定義
前橋市	空き家等を活用した二世帯近居・同居住宅支援事業	子世帯が空き家を利用し、前橋市に住む親世帯と同居または近居するとき	○	○	なし
館林市	住宅リフォーム資金助成・多世代世帯同居支援事業	住宅リフォーム助成を利用し、多世代で同居するとき	×	○	なし
佐野市	3世代同居・近居推進事業	子世帯が佐野市に住む親世帯と同居近居するとき(子世帯の市外からの転入に限る)	○	○	高校生以下
豊明市	三世代同居等支援事業	新たに三世代世帯で同居するとき	×	○	なし
能代市	住宅リフォーム支援事業補助事業	住宅リフォーム助成を利用し、多世代で同居するとき	△ (同一敷地内別棟は可)	○	18歳未満の扶養家族
藤岡市	多世代ファミリー同居支援増改築等補助金交付事業	市内に所有している住宅で多世代同居をするとき	×	×	中学生以下

※電話での聞き取り、各市の公表資料をもとに中澤が作成

○住宅リフォーム制度の創設を

対象の要件が狭く、同居という住まい方が市民の要求とかなっていないために利用が伸びないのではないのでしょうか。親世代と同居しさえすれば子育てしやすく、高齢者は安心した暮らしができるというものではありません。家庭の状況で一緒に暮らせない家庭もあると思います。より困難を抱える者に手を

藤岡市の制度は時間の限られた時限措置で、来年度で一度終了する予定なっています。来年度には利用の実態を見て再構築も含めて検討するということです。利用しやすい制度となるよう要望をしておきたいと思っています。

請願審査

○総務常任委員会の審議

「テロ等準備罪」に反対を表明する請願が出されました。6月12日、藤岡市議会総務委員会が請願の審議が行われ、中澤秀平議員は請願の紹介議員として各委員の質問にも答えました。

「テロ等準備罪」に反対する意見書の提出を求める請願

藤岡9条の会と新日本婦人の会藤岡支部

○請願賛成討論

審議のなかでは、「テロ対策として必要だ」「一般の人は対象となる心配はない」など請願の趣旨に否定的な意見が出され、一方「犯罪の要件が曖昧で心配」との意見も出されましたが、採決では、中澤秀平議員のみの賛成で請願は不採択となりました。

6月21日議会で最終日、本会議では「請願」採決にあたって、賛成討論を行ないました。採決の結果は、賛成2名で不採択となりました。